



サイパー

# 思考力算数練習帳シリーズ

## シリーズ28

# 植木算

整数範囲：二桁×二桁 三桁÷二桁

### ◆ 本書の特長

- 1、植木算の考え方を、**具体性のある「図」**から考え、そして**式によって解ける**よう、順をおって詳しく解説されています。
- 2、全て**整数**だけで解けるように、問題が作られています。
- 3、自分ひとりで考えて解けるように工夫して作成されています。他のサイパー思考力算数練習帳と同様に、**教え込まなくても学習できる**ように構成されています。
- 4、公式に当てはめて問題を解くのではなく、**問題の意味を理解**した上で式を作るように工夫されています。

### ◆ サイパー思考力算数練習帳シリーズについて

ある問題について同じ種類・同じレベルの問題をくりかえし練習することによって、確かな定着が得られます。

そこで、中学入試につながる文章題について、同種類・同レベルの問題をくりかえし練習することができる教材を作成しました。

### ◆ 指導上の注意

- ① 解けない問題、本人が悩んでいる問題については、お母さん（お父さん）が説明してあげてください。その時に、できるだけ具体的なものにたとえて説明してあげると良くわかります。（例えば、実際に目の前にえんぴつを並べて、植木の代わりとする、など。）
- ② お母さん（お父さん）はあくまでも補助で、問題を解くのはお子さん本人です。お子さんの達成感を満たすためには、「解き方」から「答」までの全てを教えてしまわないでください。教える場合はヒントを与える程度にしておき、本人が自力で答を出すのを待ってあげてください。
- ③ お子さんのやる気が低くなってきていると感じたら、無理にさせないでください。お子さんが興味を示す別の問題をさせるのも良いでしょう。
- ④ 丸付けは、その場でしてあげてください。フィードバック（自分のやった行為が正しいかどうか評価を受けること）は早ければ早いほど、本人の学習意欲と定着につながります。

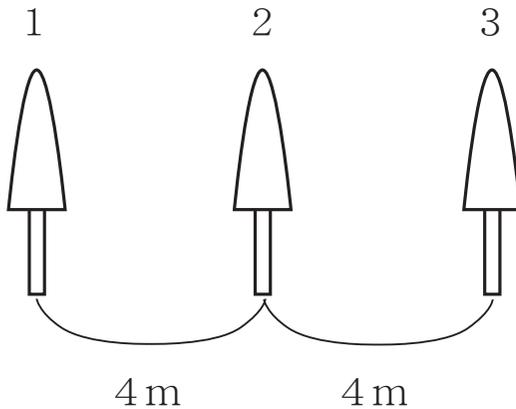
# もくじ

植木算 1、全部木の場合	3
演習問題 1	22
テスト 1	24
植木算 2、両端は数えない場合	26
演習問題 2	33
テスト 2	34
植木算 3、まわりに植える場合	35
演習問題 3	40
テスト 3	41
植木算 4、片端だけ数えない場合	42
総合問題 1	44
総合問題 2	46
総合テスト	48
解答	50

## 植木算 1、全部木の場合

例題 1、木が一行に同じ間隔で3本植えられています。木と木との間はどこも4mです。木は端から端まで何mでしょうか。

★絵をかいてみると、良くわかります。



いちもくりょうぜん  
一目瞭然ですね。

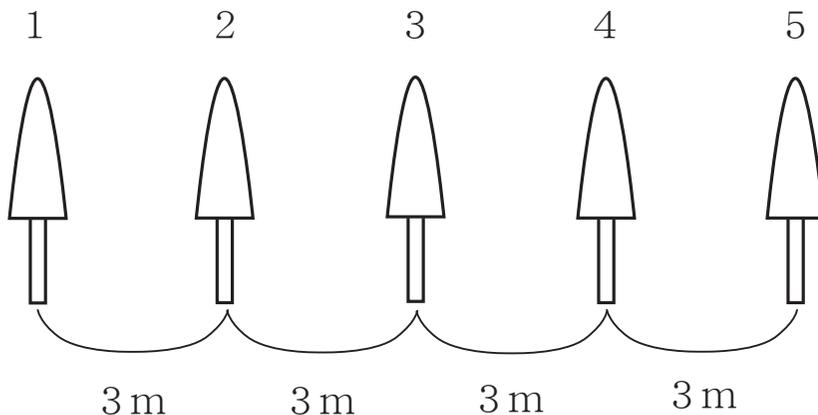
答 8m

類題 1、木が一行に同じ間隔で5本植えられています。木と木との間はどこも3mです。植木は端から端まで何mでしょうか。絵をかいて考えてみましょう。

絵

答 \_\_\_\_\_ m

## 類題 1 の解答



答 12m

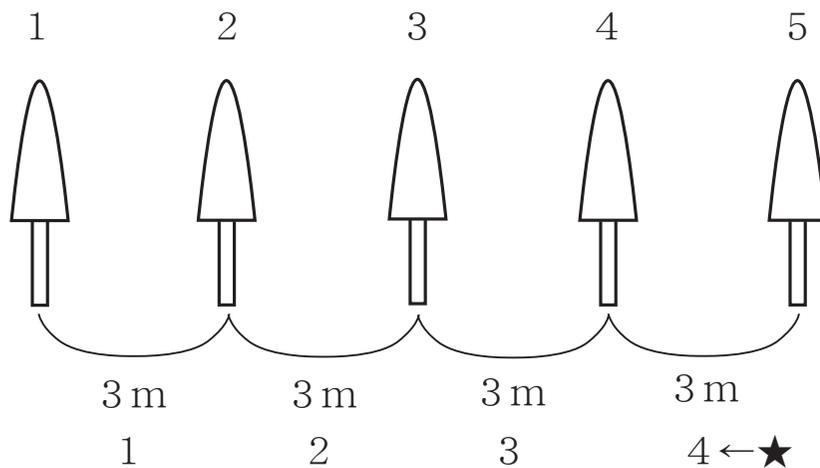
**例題 2** 類題 1 を、計算で解いてみましょう。上の図を参考にして考えましょう。

12m という答を出すための式は

$$3\text{m} \times 4 = 12\text{m}$$

だとわかります。この式の「3m」と「4」という数字は何のことでしょう。「3m」は木と木の間の長さですね。問題文に書いてあります。では、「4」というのは、どこから出てきたのでしょうか。もちろん図を書いてみれば、わかります。しかし、もし図を書かないで式だけで解くためには、この「4」という数字を、別の式を立てて導き出さなければなりません。

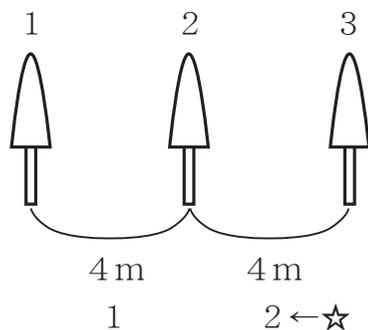
先ほどの図を、もう一度書いてみましょう。



$$3\text{ m} \times 4 = 12\text{ m}$$

の「4」は、上図の★印のところの「4」ですね。3mが4つあるから $3\text{ m} \times 4 = 12$ という式になるわけです。

例題1でいうと、下のようになります。



この問題を式で解くと

$$4\text{ m} \times 2 = 8\text{ m}$$

となりますね。この「 $\times 2$ 」の「2」は★印の2です。